

ロマ 8:1 こういうわけで、今や、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。

Rom 8:1 Therefore, there is now no condemnation for those who are in Christ Jesus, / [NIV]

J-ばいぶるGREEK 原書講読画面

ロマ 8:2

ὁ γὰρ νόμος τοῦ πνεύματος τῆς ζωῆς ἐν Χριστῷ Ἰησοῦ ἠλευθέρωσέν σε ἀπὸ τοῦ νόμου τῆς ἀμαρτίας καὶ τοῦ θανάτου.

<文法解析ノート> Rom 8:2

- [1] ὁ ὁ dnms 冠)主男単 冠詞(この、その) [2] γὰρ γὰρ (ガル) cs 接)従 なぜなら、というのは、すなわち、だから
[3] νόμος νόμος n-nm-s 名)主男単 律法 [4] ὁ τοῦ dgms 冠)属中単 冠詞(この、その)
[5] πνεῦμα πνεύματος n-gn-s 名)属中単 霊 [6] ὁ τῆς dgfs 冠)属女単 冠詞(この、その)
[7] ζωὴ ζωῆς n-gf-s 名)属女 いのち、生存、(永遠の・神の)いのち [8] ἐν ἐν pd 前)与 中に、間に、で、よって、に、
[9] Χριστός Χριστῷ n-dm-s 名)与男単 キリスト [10] Ἰησοῦς Ἰησοῦ n-dm-s 名)与男単 イエス
[11] ἐλευθερώω ἠλευθέρωσέν viaa--3s 動)直ア才能3単 解放した、自由にした(※1)
[12] σύ σε (セー) npa-2s 代)対2単 あなた [13] ἀπὸ ἀπὸ pg 前)属 ~から、のうちの、によって
[14] ὁ τοῦ dgms 冠)属男単 冠詞(この、その) [15] νόμος νόμου n-gm-s 名)属男単 律法
[16] ὁ τῆς dgfs 冠)属女単 冠詞(この、その) [17] ἀμαρτία ἀμαρτίας n-gf-s 名)属女単 罪
[18] καὶ καὶ cc 接)等 そして、~さえ、しかし、しかも、それでは、そうすれば
[19] ὁ τοῦ dgms 冠)属男単 冠詞(この、その) [20] θάνατος θανάτου. n-gm-s 名)属男 死

<聖書翻訳比較ノート>

【新改訳2017】 なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の律法が、罪と死の律法からあなたを解放したからです。

※2

※3

【口語訳】 なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の法則は、罪と死との法則からあなたを解放したからである。

【新共同訳】 キリスト・イエスによって命をもたらす霊の法則が、罪と死との法則からあなたを解放したからです。

【LIB改訂】 なぜなら、いのちを与える御霊の力が、罪と死の悪循環から解放してくれたからです。

【NKJV】 For the law of the Spirit of life in Christ Jesus has made me free from the law of sin and death.

【TEV】 For the law of the Spirit, which brings us life in union with Christ Jesus, has set me free from the law of sin and death.

【KJV】 For the law of the Spirit of life in Christ Jesus hath made me free from the law of sin and death.

【NIV】 because through Christ Jesus the law of the Spirit of life set me free from the law of sin and death.

※1: ἠλευθέρωσέν (解放した/エレウセロウセン) は ἐλευθερώω (解放する/エレウセロウ) の 3 人称単数アオリスト時制直接法=アオリストの総括的用法 (解放してしまった。だから今も解放されている。意味はほとんど完了時制と同じであるが、完了時制が現在の結果を強調しているのに対して、総括的アオリストは現在の結果を造り出したある過去の行為の、それが行われた時点が強調されている。一度限りのことを表す不定過去形)

※2: キリスト・イエスにあるいのちの御霊の律法=キリスト・イエスにある「恵みの支配」

※3: 罪と死の律法=神の道徳 (律法)、特にモーセを通して十戒という形で与えられた律法

J-ばいぶるGREEK 原書講読画面

ロマ 8:3

τὸ γὰρ ἀδύνατον τοῦ νόμου ἐν ᾧ ἠσθένει διὰ τῆς σαρκός, ὁ θεὸς τὸν ἑαυτοῦ υἱὸν πέμψας ἐν ὁμοιώματι σαρκὸς ἀμαρτίας καὶ περὶ ἀμαρτίας κατέκρινεν τὴν ἀμαρτίαν ἐν τῇ σαρκί,

<文法解析ノート> Rom 8:3

- [1] ὁ τὸ dans 冠)対中単 冠詞(この、その) [2] γὰρ γὰρ (ガル) cs 接)従 なぜなら、というのは、すなわち、だから
[3] ἀδύνατος ἀδύνατον ap-an-s 形)対中単 できない、不可能な、力のない
[4] ὁ τοῦ dgms 冠)属男単 冠詞(この、その) [5] νόμος νόμου n-gm-s 名)属男単 律法
[6] ἐν ἐν pd 前)与 中に、間に、で、よって、に、 [7] ὅς ᾧ aprdn-s^npdn3s 関)与中単/代)与3単 この~
[8] ἠσθενέω ἠσθένει viia--3s 動)直未完能3単 病気である
[9] διὰ διὰ pg 前)属 ~を通じて、~の故に、~のために [10] ὁ τῆς dgfs 冠)属女単 冠詞(この、その)
[11] σὰρξ σαρκός, n-gf-s 名)属女単 人間、肉体、身体、血のつながり [12] ὁ ὁ dnms 冠)主男単 冠詞(この、その)
[13] θεός θεός n-nm-s 名)主男単 神 [14] ὁ τὸν dams 冠)対男単 冠詞(この、その)
[15] ἑαυτοῦ ἑαυτοῦ npgm3s 代)属男3単 彼自身、自分自身、 [16] υἱός υἱὸν n-am-s 名)対男 息子、子、子孫
[17] πέμπω πέμψας vpaanm-s 分)ア才能主男単 送る、遣わす [18] ἐν ἐν pd 前)与 中に、間に、で、よって、に、
[19] ὁμοίωμα ὁμοιώματι n-dn-s 名)与中単 似た物
[20] σὰρξ σαρκός n-gf-s 名)属女単 人間、肉体、身体、血のつながり
[21] ἀμαρτία ἀμαρτίας n-gf-s 名)属女単 罪
[22] καὶ καὶ cc 接)等 そして、~さえ、しかし、しかも、それでは、そうすれば [23] περὶ περὶ pg 前)属 ~のこと
[24] ἀμαρτία ἀμαρτίας n-gf-s 名)属女単 罪
[25] κατακρίνω κατέκρινεν viaa--3s 動)直ア才能3単 罪に定める、罪を宣告する
[26] ὁ τὴν dafs 冠)対女単 冠詞(この、その) [27] ἀμαρτία ἀμαρτίαν n-af-s 名)対女単 罪
[28] ἐν ἐν pd 前)与 中に、間に、で、よって、に、 [29] ὁ τῇ ddfs 冠)与女単 冠詞(この、その)
[30] σὰρξ σαρκί, n-df-s 名)与女単 人間、肉体、身体、血のつながり

<聖書翻訳比較ノート>

【新改訳2017】 (なぜなら、というのは)肉によって弱くなったため、律法にできなくなったことを、神はしてくださいました。神はご自分の御子を、罪深い肉と同じような形で、罪のきよめのために遣わし、肉において罪を処罰されたのです。

【口語訳】 律法が肉により無力になっているためになし得なかった事を、神はなし遂げて下さった。すなわち、御子を、罪の肉の様で罪のためにつかわし、肉において罪を罰せられたのである。

【新共同訳】 肉の弱さのために律法がなしえなかったことを、神はしてくださいました。つまり、罪を取り除くために御子を罪深い肉と同じ姿でこの世に送り、その肉において罪を罪として処断されたのです。

【LIB改訂】 律法を知っているだけでは、罪の支配からは救い出されません。私たちはそれを守ることもできないし、実際守ってもいないからです。ところが、神は私たちを救うために、別の計画を実行に移されました。すなわち、神のひとり子を、私たちと同じ体を持つ者として一ただ私たちのような罪の性質を持たない点では異なりますが一世にお遣わしになったのです。そして、彼を私たちの罪のためのいけにえとして、私たちががんじがらめにする罪の支配を、打ち破られたのです。

【NKJV】 For what the law could not do in that it was weak through the flesh, God did by sending His own Son in the likeness of sinful flesh, on account of sin: He condemned sin in the flesh,

【TEV】 What the Law could not do, because human nature was weak, God did. He condemned sin in human nature by sending his own Son, who came with a nature like our sinful nature, to do away with sin.

【KJV】 For what the law could not do, in that it was weak through the flesh, God sending his own Son in the likeness of sinful flesh, and for sin, condemned sin in the flesh:

【NIV】 For what the law was powerless to do in that it was weakened by the sinful nature, [[3] Or <the flesh>; also in verses 4, 5, 8, 9, 12 and 13] God did by sending his own Son in the likeness of sinful man to be a sin offering. [[3] Or <man, for sin>] And so he condemned sin in sinful man, [[3] Or <in the flesh>]